

町づくりに関する記述

- ・統廃合は進めるべきであり、その方法は亙理の町づくりと関連している。
(例) スクールバスを、昼間は「さざんか号」に転用する。(町をランドデザイン)
- ・子供も減っているのに、税収も減っているのではないか。
- ・人口の減少により、再編・統合という話になっているが、町として、人を呼び込む、企業を誘致するなど、積極的に人を増やす努力が必要なのではないか。

再編・統合(賛成・仕方ない・条件付き)に係る記述

- ・角田や丸森でも統廃合が進んでおり、亙理も他人ごとではない。
- ・亙理小は古いのに、人数が少ない荒浜小は新しい。早く再編すべきである。
- ・統廃合は仕方がない。そのためにも、不登校など解決すべき問題を表に出すべきである。
- ・自然的な人口減少を待っての再編・統合は消極的な選択である。

学区の再編に係る意見

- ・学区の変更は過去にあったのか。
- ・吉田小の子供が、吉田中学校に通っていたことがあった。現在は亙理中へ通っている。
- ・30年代、2町2村の合併の際に、学区の見直しがあった。
- ・吉田小・長瀬小の子供が吉田中に通っていた。亙理中との距離の問題から、現在のようになった。
- ・以前、吉田中と亙理中の合併の話もあったが、デモ等の実施により阻止した。
- ・5年ほど前、学区編制の見直しをするにあたり、5年かかると言われた。学区編制については検討しないのか。

偏りや人数に違いがあることに係る意見

- ・複数学級の方が良いのは分かるが、1学級が2学級になった方が良いという考えと、複数学級がさらに多くの学級の方が良いという考えは、回答の根拠が違う。複数学級にした方がよいというアンケート結果を根拠に、再編・統合を進めるのは早計である。

学校再編・統合に係る問題点の具体的な記述

- ・小学校は、近い場所にある方が安心である。
- ・将来の子どもたちのために、どのような教育環境を整えるのかは大切であるが、再編・統合するまでの間、どのように教育環境を充実させていくかの議論も必要である。

今後の進め方に対する記述

- ・いつ結論を出すのか。
 - ・学校がここにできたら、スクールバスはここを運行するなど、もう少しイメージできるとよい。
- 本日の参加者の少なさからも自分事として捉えていない。

- ・具体的にどうするのが見えない。
- ・統廃合の流れが見えない。
- ・最終的にいつ決まるのか。
- ・現時点で、再編統合はいつごろと考えているのか。
- ・再編・統合は、いつ実施されるのか。
- ・町として、こうしたいという意見はあるのか。アンケートをしてから検討するという事なのか。
- ・(再編統合等について) 何年後を見据えているのか。具体的に何年後とあげてもらった方が、議論が進むのではないか。

少人数の良さに関する記述

- ・学校の特色が大切であり、(特認校の) 高屋小は良い例である。人を外から呼び込めるのではないか。

施設・設備に関する記述

- ・学校も老朽化し、どこかに建てなければならないが、地域に学校があることが大切なのではない。適切な教育が受けられること、部活動を選択できること等が大切なのではないか。

その他の記述

- ・法的な縛りがあるからが前提になっているのではないか。
- ・自死やいじめ等も起こっており、その原因を明らかにすべきではないか。
- ・アンケートを踏まえて行うのは、あまり建設的でない。(ほとんど他人ごとではないか)
- ・アンケートの項目が分からなかった。
- ・宮城や亘理は不登校が多い。昔は先生方にゆとりがあった。もう少し先生方が子供たちを見られる環境だとよい。
- ・いろいろな意見を知ることができたが、結果的に再編・統合は決定事項なのか。
- ・子ども3人がいるので、3枚のアンケート用紙を記入した。3枚に同じ回答をしたので、考えに偏りが起きないのか。
- ・外部の人を入れることも必要である。
- ・主役である先生や生徒の意見を聞くことも必要である。
- ・紙だけでなく、直接聞き取ること(面談)も必要なのではないか。
- ・結果ありきになっており、地域や学校、町が納得しながら進めなければならない。
- ・外部の人を入れて、多角的に話を聞くことも必要である。

情報開示について

- ・再編統合で進んでいるが、このままでよいと回答している人もいる。検討委員会の記録の開示はできるか。検討委員会での話し合いのプロセスが抜けている。
- ・子供が2人いる。検討委員会のメンバーは、どんな構成になっているのか。

- ・どんな人たちが、どんな話し合いをしているのかを公表してほしい。
- ・再編・統合の経緯が分からないので、分かるようにしてほしい。
- ・小学校は存続，中学校は2つになるなど，どうなるのか知りたい。保護者や地域の声を聞く機会を持ち，できるだけ内容を公表してほしい。
- ・仙台市の六郷小の統廃合の際に，情報公開がなされないために住民とトラブルになった。
- ・検討委員会のメンバーが誰なのか分からないのは，おかしい。
- ・再編・統合の話が，どんどん進んでいるのは恐ろしい。中学校が2校になるとの話もあるが，地域の人との話し合いの結果ということなら分かるが・・・。どうしてこのような話になったのかの真意を知りたい。

町づくりに関する記述

- ・教育環境が充実していないと、子育て世代は出て行ってしまう。
- ・単に学校を残せば良いという問題ではなく、地域全体の将来をどうしていくのか、街づくり、地域づくりをどう考えるか、検討委員会だけではなく総合的なまちづくり構想が必要。
- ・教育の独自色で「教育移住」の先進地が成果を上げている。

小中一貫校に係る意見

- ・小中一貫校や先生の人数等、無理でも進めるべき。
- ・莫大な経費がかかるという言い回しは脅しに感じる。
- ・既存校の改修でもできるのでは。
- ・荒浜中は新校舎だから、小学校を同居させられるのでは。
- ・中学校の統合も必要かと思うが、小中学校が同じ敷地や建物にあっても良い。

学校再編・統合に係る具体的な提案の記述

- ・荒浜、吉田、長瀬小は存続は難しいと思う。危機感をもって対応すべき。

今後の進め方に対する記述

- ・「教育環境の整備に関する・・・」ではなく、「小中学校の合併について」など分かりやすくすべき
- ・保護者の意見より、教育委員会の意見はどうなのか。
- ・将来のビジョンが見えるような資料をお願いする。
- ・将来のビジョンが見えない。
- ・方向性が見えない。この結果では、「現状維持」とも「再編」とも引き出せる。
- ・町が考える学校規模（決まりを考えずに）
 - ①1学年の学級数（複数学級） ②1学級の児童生徒数（○～○人）
 - ③通学距離（小学と中学） ④先生の人数
- ・統合するまでに実施することはないのか
- ・検討委員会の議論の場では①議論の内容の確認、②他都市事例の視察、③域内学校の聴き取り調査などに裏付けられた計画を望む。
- ・児童生徒の推移を基に再編・統合を進めるのではなく、町の特徴を生かした魅力ある学校づくりをお願いする。

その他の記述

- ・法的な制限を考えては進まない。
- ・地域から学校がなくなるのは消滅しても仕方がないと言っているようなもの。
- ・アンケートの報告は配布でも良かったのでは。
- ・再編・統合を終えた後に、考えた学校規模と実情の調査と再見直しの条件整備

意見書提出用紙による意見

別紙2

- ・学校の役割は教育の場、地域コミュニティ、防災、街づくりの役割がある。
- ・財政を判断基準にした統廃合エリアにしないこと。
- ・前例主義や固定観念を脱し柔軟な思考で考えるべき。

情報開示について

- ・実現可能な学校規模にするために再編・統合が必要になることを関係者に説明
- ・検討委員会の議論の公開。